

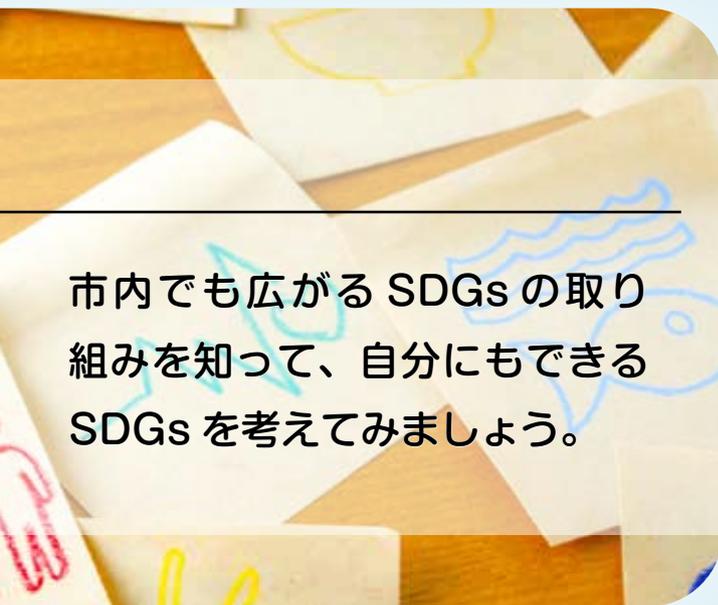


SDGs

エスディー・ジーズって

なんだ？





市内でも広がる SDGs の取り組みを知って、自分にもできる SDGs を考えてみましょう。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

持続可能な開発目標



気候変動に具体的な対策を

- ・地球温暖化について学ぶ
- ・電化製品の主電源を小まめに切る



海の豊かさを守ろう

- ・マイボトルを使用し、ペットボトルやストローの使用を減らす
- ・海岸や河川の清掃活動に参加する



陸の豊かさも守ろう

- ・森や田畑を守る活動に参加する
- ・環境に配慮した製品を選ぶ



平和と公正をすべての人に

- ・いじめは絶対にしない
- ・選挙に行く



パートナーシップで目標を達成しよう

- ・家族などと SDGs について話す
- ・地域の活動などに参加する

出典：国際連合広報センター (<https://www.unic.or.jp/>)



人や国の不平等をなくそう

- ・差別になる発言や行動をしない
- ・違いを認め合い、理解する



住み続けられるまちづくりを

- ・地域活動に参加する
- ・住んでいる街の魅力を考えてみる



つくる責任 つかう責任

- ・産地や生産者を見て商品を選ぶ
- ・環境にやさしい商品を選ぶ

アンケート調査によると、約半数の方が「SDGs」という言葉を聞いたことがあると回答しています。

SDGs とは？

サステナブル デベロップメント ゴールズ
「Sustainable Development Goals」の略称で「持続可能な開発目標」を意味するものです。2015年に国連サミットで採択された世界共通の17の目標について、2030年までに解決を目指します。経済・社会・環境のバランスを取りながら、現在から将来まで全ての人が平和で豊かに暮らせる「誰一人取り残さない世界」を実現する取り組みです。

最近、テレビや新聞・ネットニュースなどでよく見聞きするようになった「SDGs」という言葉を存じですか。

SDGsの目標

1人ひとりができること

1 貧困をなくそう



貧困をなくそう

- ・募金活動に参加する
- ・フェアトレード商品を購入する
発展途上国で作られた製品を適正な価格で取引すること

2 飢餓をゼロに



飢餓をゼロに

- ・食材は食べきれ的分だけ買う
- ・すぐ食べるものは賞味期限の短いものを選ぶ

3 すべての人に健康と福祉を



すべての人に健康と福祉を

- ・健康診断を定期的に受ける
- ・運動の習慣化、食生活の改善に気を付ける

4 質の高い教育をみんなに



質の高い教育をみんなに

- ・世界や日本の教育の現状を知る
- ・教育支援の活動をする団体に募金をする

5 ジェンダー平等を実現しよう



ジェンダー平等を実現しよう

- ・男だから女だからと決め付けない
- ・仕事も家事も子育ても平等に分担する

6 安全な水とトイレを世界中に



安全な水とトイレを世界中に

- ・水を無駄遣いしない
- ・世界の水、トイレ事情を知る

SDGs (エスディーゼズ)

「言葉は聞いたことがあるけど、何をすれば良いのか…」という方が多いかもしれません。

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



エネルギーをみんなに そしてクリーンに

- ・電気を節約する
- ・未来のエネルギーについて考える

8 働きがいも経済成長も



働きがいも 経済成長も

- ・ワークライフバランスを考えて働く
- ・社会や経済の仕組みを学ぶ

9 産業と技術革新の基盤をつくろう



産業と技術革新の基盤をつくろう

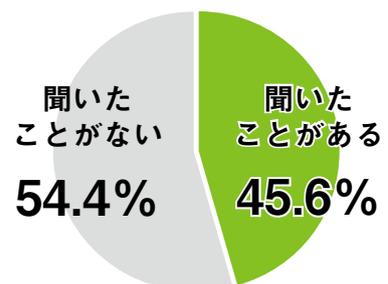
- ・新しい技術を積極的に利用する
- ・災害復旧などに募金をする

しかし、「聞いたことはあるけど、何のことか分からない」「環境問題など、さまざまな社会問題に取り組むことというのは分かるけど、具体的に何に取り組めば良いのか？」と思う方も多いのではないのでしょうか。

難しそうに思えるSDGsですが、実は私たちが日常生活で行っていることもSDGsに繋がっていたりするので。

次のページでは、市内で見つけたSDGsの取り組みをご紹介します。

SDGsという言葉を知っていますか？



出典:2020年12月調べ
朝日新聞社「第7回SDGs認知度調査」

古着を回収して難民キャンプの子どもたちに届けます

竜洋中学校では、SDGsの学習の一環で「“届けよう、服のチカラ”プロジェクト」というユニクロ（株式会社ファーストリテイリング）が実施する海外の難民の子どもたちに着なくなった服を届ける取り組みに参加しています。

海外に届けられる日が楽しみです！



竜洋中学校
“届けよう、服のチカラ”プロジェクト
メンバーの皆さん



集めた服をきれいに畳んで箱詰めします

例年は、小学校や地域の皆さんにも呼び掛けて服を集めていますが、今年は新型コロナウイルス感染症の影響により、校内でお知らせして生徒が各家庭から服を持ち寄っています。

難民キャンプにいる方々にとって、服は肌を守るためにとても大切なものだとこのプロジェクトで知りました。服の持つ力とエコ活動の大切さを学ぶ貴重な体験ができました。

SDGsの取り組み

できることから始めてみませんか

家で余った食料を集めて困っている方に届けます



磐田市福祉課 伊藤主査
磐田市社会福祉協議会 村松 勇吾さん



食料の受け付けと提供は随時行っています。お気軽に社会福祉協議会(☎37-9617)へお問い合わせください

市と社会福祉協議会では、「認定 NPO 法人フードバンクふじのくに」が実施している、家で余った食料を集めて寄付する活動「フードドライブ」に協力しています。

毎年1月と8月に協力を呼び掛け、今年8月1日から31日までの期間では、合計200kgの食料が集まりました。

食料は、「認定 NPO 法人フードバンクふじのくに」へ送り、食べるものがなく困っている方に届けられます。

毎回多くの食料を提供いただき、貧困問題への関心の高まりを感じています。



食品ロスの削減にもつながります



次回は、来年1月4日から31日まで食料の回収を行います。(詳しくは広報いわた12月号をご覧ください)

誰にでも手軽に始めることができるSDGsの取り組みだと思えます。ぜひご協力をお願いします。



誰もが笑顔で家族のように働き続けられる職場を目指します



社員の3人に
1人が60歳以上
なんです！



コーケン工業株式会社
代表取締役 社長
飯尾 祐次さん

コーケン工業では、照明のLED化や工場の屋根にソーラーパネルの設置をしているほか、高齢者や障がい者を継続的に雇用していることもSDGsの目標につながっていると思います。

ほかにも、子育て中の社員が子連れ出勤できるように、会議室をキッズルームにして、社員みんなで子どもをみることもしています。

高齢であっても、障がいがあっても、小さな子どもがいても、家族のように楽しく働けたら幸せです。自分の幸せが家族や会社の幸せになり、それが地域や社会の幸せに、そしてその積み重ねが世界の幸せにつながると思います。

夢は0歳から100歳までの人が同じ屋根の下にいて、4世代同居家族のような会社にする事です。



60歳以上の社員も元気に活躍しています

こんなことも
SDGs!

磐田で見つけた

あなたの身近にあるSDGsを見つけて

SDGsを学び、家族で実践しています



家族で楽しみながら
取り組んでいます！



見付在住
恩田 蓮音さん 恩田 孝美さん

〈蓮音さん〉夏休みの自由研究でSDGsについて調べました。SDGsの本を読んだり、磐田市クリーンセンターに行きごみ問題について教えてもらったりしました。

マイクロプラスチックが川から海まで流れてしまうことを知り、僕にもできることを考えて、近所のごみ拾いやペットボトルをなるべく買わないで水筒を使うようにしています。地球のためにみんなにも一緒にやってもらいたいと思いました。

自由研究をまとめた
スケッチブック



プロギングで「大物」を拾って喜ぶ蓮音さん

〈孝美さん〉ごみを拾いながらジョギングする「プロギング」に家族で参加しています。

ごみ拾いをプラスに捉えることができ、スッキリした気分を仲間とシェアするのが良いですね。地域のイベントと同時に行うこともあり、地域や地元企業を応援できることも良いと思います。

